



絆通信

伊賀市議会議員
木津直樹活動報告
 〒518-1322 伊賀市玉瀧3486
 TEL42-1011 FAX42-0550
 E-MAIL kizuna@ict.ne.jp
 ホームページhttp://www.kizu.biz/

「平成26年（2014）新しい年を迎えました。これまでの活動報告と
 これからの議会の動きや市政について情報を発信します」

👉 川上ダムの建設推進が決まりました 水道料金への影響はありません

昨年11月に岡本市長がダム建設見直しを表明し中断していましたが、ようやく本体工事着工に動きはじめます
 ☆今後はスピード感を持ち国や県に働き掛け早期完成に向けて取り組みます。〈2面に続く〉

👉 新庁舎は 四十九町(県庁舎隣接) それとも 上野丸之内(現在地)

地方公共団体の事務所は条例で定められています。その改正には議員3分の2以上の同意が必要となります
 市側は四十九町移転を提案しますが、議会24名の動向は賛成が約16名、反対が約8名でまさに5分5分です
 ☆現在の南庁舎について議会としては解体する意見が大多数です〈2面に続く〉

👉 市民センターの自治センター化は時期尚早と考えます

伊賀市は行政窓口施設である「地区市民センター」について、平成27年度4月から指定管理者制度を導入し
 住民自治の活動拠点として「自治センター化」していくことを検討しています。

合併して約10年経ちますが、市内各地の自治協議会はそれぞれの実情により円熟度も温度差もあります。
 組織が確立している地域は指定管理者制度をすすめ、その他の地域に於いては当分の間は直営で運営して
 地域を育てて行くことが大切であると考えます。

木津直樹12月定例会の一般質問です

《1・川上ダムについて》

- ①ダム建設の最終判断は自らの責任で行う
 よう市長の政治姿勢に対して意見を述べた。
- ②ダム水源による水道料金への影響を市民
 の皆さんにも解るようにパネルを使い質問
 をしました。

《2・市長所信表明より》

- ①市長のトップセールスが観光や農林業に於いて
 どれだけ成果があったかを問う。

《3・伊賀のブランド力強化について》

- ①伊賀焼の芸術的価値を高めて地場産業の発展
 にどう繋げていくかなど政策提言をしました。

☆成人式についてご意見をお聞かせ下さい！

2014年より成人式が地区別で行われます。
 岡本市長の見直しを受け、教育委員会で議論された
 結果ですが、私は伊賀市一本で行って欲しかったと
 思います。今回初めて地区別開催されますが、参加
 して感じたことがあれば教えて下さい。

成人式:1月12日(日)午前11時 あやま文化センター
 対象阿山中学卒業生 男性39名 女性41名 計80名

台風18号災害の復旧について

昨年の台風18号は伊賀市に甚大な被害を与えましたが、
 川崎代議士が迅速に対応し、国の激甚災害指定を受ける
 事ができ、農林地の復旧事業費の地主負担が軽減され
 ます。工期については早期復旧を要望しています。

宅地が被災した方へ

所得控除が受けられる場合がありますので、市役所税務
 課にお問い合わせ下さい。

～阿山地区議会報告会のご案内～

- | | | | | |
|----------|------------|--------|----|-------------|
| 1月14日(火) | 丸柱地区市民センター | 19:30～ | 5班 | 近森・福岡・森・中岡 |
| 1月16日(木) | 鞆田地区市民センター | 19:00～ | 3班 | 稲森・嶋岡・木津・岩田 |
| 1月17日(金) | 阿山保健福祉センター | 15:00～ | 2班 | 前田・市川・生中・百上 |
| 1月25日(土) | 玉瀧地区市民センター | 19:00～ | 4班 | 上田・田中・田山・安本 |

注・議員は変更する場合があります

川上ダム

ダム建設は昭和40年からの長い歴史があり、用地取得や集落移転など関連事業については概ね完了しダム本体工事着工の予定でした。しかし先の民主政権で公共事業の政策転換の対象となりました。その後自民政権が復帰し工事再開かと思いましたが岡本市長が見直しを表明した為にまた一時停止の状態となってしまいました。川上ダムは治水(災害対策)と利水(水源確保)更に財務面からも市民にとって大変重要な施設であることから、木津直樹が発起人となり川上ダム推進の議員連盟を設立し、国・県などに要望や市民に向けた広報紙の発行などの活動を行った結果、12月中に市長が判断する事になりました。そして12月25日の議員全員協議会に於いて22名の議員が推進の意向を示した後、岡本市長が川上ダム建設を推進することを決定しました。

尚、川上ダム建設による水道料金への影響はありません。安全・安心そして安価な水の供給に努力します

庁舎建設

岡本市長就任前は現在地で新庁舎を建て替える計画で予算執行も行われていたが就任後の方針により南庁舎を保存活用することとした。また、新庁舎の位置は丸之内の現在地と四十九町の県庁舎隣接地の2案答申であったが、12月25日に市長方針が発表され①新庁舎は四十九町の県庁舎隣接地に新築移転する②南庁舎は改修し図書館や文化施設に活用する事となった。

但し、庁舎を移転する場合は地方自治法第4条により事務所の位置を定めた伊賀市の条例改正を必要とします。その条例改正には出席議員の3分の2以上の同意が必要となります。「伊賀市の議員定数は24名ですから全員出席で16名の同意がなければ、新庁舎は四十九町に移転することは出来ません。」

木津直樹は市民の皆さんのご意見を参考させていただき、議会で十分討議し判断して行きます。

病院改革

市民の皆さんが求めているのは、救急医療の充実とおもいますが上手く進んでないのが現実です。伊賀市には同規模の総合病院が二つあるのが要因のひとつです。

将来的に伊賀市も人口減となりますので、民間病院との統合を視野に入れ議論していく必要があります。当面は医師確保に努め常勤内科医5名を目標に急性期医療の充実を図って行きます。

校区再編

教育委員会の資料より

《阿山地区小学校区再編計画の進め方》

《阿山地区校区再編成計画の経過報告》

○10月 2日 第13回阿山地区小学校区再編計画検討協議会

- * 諏訪地区の意向が固まったことを報告
- * 丸柱小学校(丸柱・音羽地区)と河合小学校がH27年度統合に向けて協議することを承認

○10月23日 第1回(仮称)丸柱・河合小学校設置準備委員会

- * 設置要綱、会長・副会長が決定
- * 統合に向けた課題の確認

○11月18日 第2回(仮称)丸柱・河合小学校設置準備委員会

- * 校名の決め方について協議

平成25年度
現在児童数



音:丸地区
(児童数
:30名)

河合小学校
(児童数:163名)



統合年度
平成27年度



(仮称)丸柱・河合小学校
(児童数:207名)
(所在地:河合小学校位置)



将来的考え方



(仮称)阿山地区小学校
【玉滝小・鞆田小統合案】

「↓下の図」河合小学校校舎改築事業の概要は工期が平成26年2月末から平成27年3月まで、事業費は平成25年度440,438千円、平成26年度666,463千円です。平成27年4月には新校舎で入学式が行われます。

